

会津若松市教育委員会社会教育課長 渡部 宏
 ボーイスカウト福島県連盟理事長 秋月 鏡 観
 県立会津工業高等学校教諭 赤城 良 一
 福島県教育庁社会教育課員、南会、信夫、東白川、双葉
 教育事務所社会教育担当者

(4) 参加者

子ども会等少年団体のジュニアリーダーおよびジュニア
 リーダーになろうとする者、少年団体指導者

(5) 内容

① 講 義

- ア. 子ども会等少年団体の意義
- イ. 子どもの理解と団体活動
- ウ. 指導者の任務と役割
- エ. 運営とプログラム
- オ. 子ども会等少年団体のつくり方

② 実 技

- ア. 野外活動について
- イ. 体育、遊び、レクリエーション

(6) 効 果

ジュニアリーダー養成を中心として、理論をとおして実
 技指導を行なった結果、少年団体育成指導に自信と意欲を
 高のることができ、これからの活動が期待される。

4 青年国内研修

(1) 趣 旨

勤労青年に明るい希望を与え、はつらつとした郷土振興
 への活動を促進するため、県下の青年を北海道札幌市、江
 別市および県内の学校研究機関に派遣して、生活、文化、
 教育、産業に関する実地研修を行ない、もって郷土振興に

④ 県外研修日程

月	日	場 所	宿 泊 地	日 程	研 修 内 容	備 考
7	21	猪苗代町	国立磐梯 青年の家	14時集合 事前研修日程表による	オリエンテーション研修の意義、研修 方法、団体活動、班別研修	社会教育課 員
7	23			12時解散		
8.	23	福島市	あぶくま荘	14時集合 14:10結団式 14:30～16:30 協議会 17:00～20:00準備	共同生活の意義、出発準備	課 員
		福島発	車 中	21:09分福島発(急八甲田)		
8	24	青森 函館	森館 船中 函館	6:18青森着 6:40青森発→10:30 函館着		
		函 館	道南 青年の家	11:00～17:00 函館見学 17:00道南青年 の家入所、青年の家研修計画	道南農事試験場、日魯漁業株式会社、 市内見学、北海道の青年活動	青年の家所 長
8	25	札幌市	円山ハウス	17:30函館発(急あかしや) 12:40札 幌着 13:30～15:00北海道教育庁あい さつ 15:30～16:30札幌教委あいさつ 18:00分～20:00分宿協議	北海道の概況(産業経済教育) 札幌市の概況(産業経済教育)	北海道教育 庁社教主事
	8.26	札幌市	分 宿	9:00受入れ式 商店の計画	個人研修	
	8.27～ 9.1	"	"	分宿研修	個人研修	
札	9 2	"	"	札幌ハウス集合 9:00～16:00	集合研修 見学(公民館、北海道大学、 社会教育施設)	
幌	9 3～ 9 7	"	"	分宿研修		
	9 8	"	"	札幌ハウス集合 10:00～16:00	江別班合同研修中間発表会	
班	9 9	"	"	分宿研修		
	9 10	"	"	札幌公民館集合	地元青年との交歓会	
	9 11～ 9.13	"	"	離市式 10:00		

資する知識技術の習得を助長し、明るい郷土建設と発展に
 資とする。

(2) 期日 県内研修 41.7.19 ～ 7.31

県外研修 41.7.21 ～23 8.23 ～ 9.17

(3) 派遣先および人員

- ① 県内研修 県農業試験場 男 9名 県畜産試験場
男10名 磐城農業高等学校 女11名 計30名
- ② 県外研修 都市班 札幌市 4名
農村班 江別市 16名 計20名

(3) 参加対象

将来郷土にあって研修の成果を積極的に生かし得る青年
 学級生、青年団員および青年グループ員で25才未満の者

(4) 実施内容・方法

① 事 前 研 修

- ア. 研修の意義と方法
- イ. 団体活動について(グループ学習)
- ウ. 本県青年教育の現状について
- エ. 研究主題の指導確認、研修方法
- オ. 話し合いの方法(討議法)
- カ. レクリエーション

② 現 地 研 修

- ア. 各研究機関の視察と研修
- イ. 社会教育関係団体とその交歓研修
- ウ. 商店、農家分宿実地研修
- エ. 班別課題集合共同研修

③ 事 後 研 修

- ア. 研修課題の整理と研究発表
- イ. 反省会および別れのつどい。